

科目名	ジャズアンサンブル b I ～bVIII	形態	実習	開講期	春・秋
担当教員	水野 修平	単位	1	年次	1, 2, 3, 4

＝授業科目の目標＝

ジャズの基本である Swing Beat を基にスタンダード、ジャズオリジナル等の楽曲を様々なアンサンブル形態で（即興）演奏できるようにする。

＝履修の条件と学習の方法＝

ピアノ及びギターでの参加希望者はテンションを含んだコード知識があること。

＝授業内容＝

春学期

- 1回 ジャズバンドにおける各楽器の役割、仕組みを確認して簡単なフォームの曲（ブルースなど）を演奏する。（その1）
- 2回 ジャズバンドにおける各楽器の役割、仕組みを確認して簡単なフォームの曲（ブルースなど）を演奏する。（その2）
- 3回 ジャズバンドにおける各楽器の役割、仕組みを確認して簡単なフォームの曲（ブルースなど）を演奏する。（その3）
- 4回 ジャズバンドにおける各楽器の役割、仕組みを確認して簡単なフォームの曲（ブルースなど）を演奏する。（その4）
- 5回 ジャズバンドにおける各楽器の役割、仕組みを確認して簡単なフォームの曲（ブルースなど）を演奏する。（その5）
- 6回 難易度の高い曲（キー、テンポ、コード進行など）を用いて演奏してみる。（その1）
- 7回 難易度の高い曲（キー、テンポ、コード進行など）を用いて演奏してみる。（その2）
- 8回 難易度の高い曲（キー、テンポ、コード進行など）を用いて演奏してみる。（その3）
- 9回 難易度の高い曲（キー、テンポ、コード進行など）を用いて演奏してみる。（その4）
- 10回 難易度の高い曲（キー、テンポ、コード進行など）を用いて演奏してみる。（その5）
- 11回 コード進行に対してリハーモナイズの可能性を考えたり、曲にアレンジをして演奏してみる。（その1）
- 12回 コード進行に対してリハーモナイズの可能性を考えたり、曲にアレンジをして演奏してみる。（その2）
- 13回 コード進行に対してリハーモナイズの可能性を考えたり、曲にアレンジをして演奏してみる。（その3）
- 14回 コード進行に対してリハーモナイズの可能性を考えたり、曲にアレンジをして演奏してみる。（その4）
- 15回 コード進行に対してリハーモナイズの可能性を考えたり、曲にアレンジをして演奏してみる。（その5）

秋学期

- 1回 管楽器で2、3声のアレンジを各自考えてきて演奏してみる。（その1）
- 2回 管楽器で2、4声のアレンジを各自考えてきて演奏してみる。（その2）
- 3回 管楽器で2、5声のアレンジを各自考えてきて演奏してみる。（その3）
- 4回 管楽器で2、6声のアレンジを各自考えてきて演奏してみる。（その4）
- 5回 管楽器で2、7声のアレンジを各自考えてきて演奏してみる。（その5）
- 6回 各自スタンダード曲にアレンジをしたり、自作曲を作ってきて演奏してみる。（その1）
- 7回 各自スタンダード曲にアレンジをしたり、自作曲を作ってきて演奏してみる。（その2）
- 8回 各自スタンダード曲にアレンジをしたり、自作曲を作ってきて演奏してみる。（その3）
- 9回 各自スタンダード曲にアレンジをしたり、自作曲を作ってきて演奏してみる。（その4）
- 10回 各自スタンダード曲にアレンジをしたり、自作曲を作ってきて演奏してみる。（その5）
- 11回 変拍子、様々なリズム、キーや様々な練習法に挑戦してみる。（その1）

12回 変拍子、様々なリズム、キーや様々な練習法に挑戦してみる。(その2)

13回 変拍子、様々なリズム、キーや様々な練習法に挑戦してみる。(その3)

14回 変拍子、様々なリズム、キーや様々な練習法に挑戦してみる。(その4)

15回 変拍子、様々なリズム、キーや様々な練習法に挑戦してみる。(その5)

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席数（率）および実技（即興演奏も含む）で評価します。

出席や技術・表現力、アンサンブル力に問題ない場合はA、欠席・遅刻がいちじるしい場合はBとします。

＝テキスト（必携）＝

特に指定はありませんが様々なスタンダード、ジャズオリジナルの載っている曲集（リアルブック）を各自用意できると良いです。